

雑草イネ防除編

県総合農業技術センター水稻関係成果の紹介

■ 2月21日に甲斐市双葉ふれあい文化館で開催された県総合農業技術センターの「令和5年度成果発表会」において、近年問題になっている雑草イネの防除体系について紹介されましたのでお知らせします。

※なお、文章は成果情報から抜粋、写真は県総合農業技術センターから提供いただきました

近年問題になっている「雑草イネ」の防除方法を発表

■ 近年、県内の標高500～700mの水田において、玄米が赤褐色で脱粒性のある「雑草イネ」が発生し、生産物に混入することにより検査で規格外となり問題になっています。そこで、県内で流通している除草剤を中心に効果を確認し、2～3年実施することで、手取り除草が可能な発生量まで低減できる防除体系を確立しました。

雑草イネとは

- ・「雑草イネ」は栽培イネと同種で、茎葉の形態が類似しており、出穂前には圃場での識別が難しい。県内で2系統(擬態型)の発生が確認され、「コシヒカリ」と比べ長稈、やや早生で(図1)、出穂2週間後から脱粒し、落下した穀により次年度雑草化する。
- ・穀の先端の色(ふ先色)は、淡い褐色または無く、穀は黄土色、玄米の果皮が赤褐色で生産物に混入すると着色粒と判定され等級が低下する(図2)。
- ・県内で発生した「雑草イネ」の系統は、他県の系統と比べて休眠性が深い傾向にあり、春期における出芽数が多く、発生が長引く傾向がある。



図1 雜草イネの草姿



図2 雜草イネの穀、玄米の外観
(※ふ先は○印の部分)



水稻共済に加入しましょう！

もうすぐ田植が始まります。
台風や長雨、いもち病などの
災害に対する備えは万全ですか？
水稻共済に加入して多発する災害に備えましょう。

除草剤による防除方法

- この防除の工程・時期は、**標高500～700mが対象**
 - 初発の「雑草イネ」を埋め込むため、**代かきは4月末から7～10日間隔で2度行う**
 - 代かきは、**水をやや少なめ**とし、出芽した「雑草イネ」を埋め込むように**2工程(重複して)で丁寧**に行う。
 - 防除体系は、代かきから田植までの日数に応じて**2体系**に区分
 - 除草剤を散布するタイミングは、2度目の代かきから田植までの期間が**4日以上開く場合**と、2度目の代かきから田植までの期間が**3日以内の場合**の2体系に区分。除草剤は、表1にある薬剤を下記の体系に従って散布する。
- 【1.代かきから田植までの期間が4日以上開く場合の除草剤散布と薬剤：3剤体系】**
- 1回目：2度目の代かき時、または代かき後に初期剤を散布(表1①)
 - 2回目：田植のあと、1回目の除草剤処理から10日以内に初期剤あるいは一発剤を散布(表1②、③～⑦)
 - 3回目：2回目の処理から7～10日後に、一発剤または中期剤を散布(表1③～⑧)
- 【2.代かきから田植までの期間が3日以内の場合の除草剤散布と薬剤：2剤体系】**
- 1回目：田植のあと、2度目の代かき後7日以内に、初期剤あるいは一発剤を散布(表1②～⑦)
 - 2回目：1回目の除草剤処理から7～10日後に、一発剤を散布(表1③～⑦)
- * 前年に発生量が多い場合は、2回目の処理から7～10日後に一発剤または中期剤を散布(表1③～⑨)
- 防除効果を上げるため、田植20～30日後に畦間や株間の漏性株と出穂前後1週間に出穂期や草丈の違う株も抜き取る

表1 雜草イネに効果のある除草剤と散布時期

種別	薬剤名	散布時期	散布方法
初期剤	① デルカット乳剤	植代時(移植4日前まで)	代かき時に原液のまま散布し混和する 原液湛水散布 (ジャンボ剤は湛水投げ込み)
	サキドリEW	植代時(移植前7日まで)	
	エリジャン乳剤/ジャンボ	植代後～移植前7日	
	② サキドリEW	移植時 移植直後～ノビエ1葉期	
	エリジャン乳剤/ジャンボ	移植直後～ノビエ1葉期	
一発処理剤	③ カウントダウンジャンボ／ カウンシルエナジージャンボ	移植直後～ノビエ3.5葉期	湛水投げ込み
	ラオウジャンボ		
	④ 天空ジャンボ	移植後1日～ノビエ3葉期	
	⑤ ウリホス粒剤10	移植後3日～ノビエ2.5葉期	
	⑥ ベッカクジャンボ	移植後3日～ノビエ3葉期	
	⑦ ピンワンジャンボ	移植後5日～ノビエ2.5葉期	
	⑧ ナイスミドル1キロ粒剤	移植後14日～ノビエ4葉期	
中期剤	⑨ ザーベックスSM粒剤	移植後20日～ノビエ2.5葉期	湛水散布



NOSAI山梨 山梨県農業共済組合 <https://www.nosai-yamanashi.or.jp>

■中央支所

TEL:0553-22-5056

■北部支所

TEL:0551-23-1111

■南アルプス支所

TEL:055-282-0443

■富士支所

TEL:0554-45-6611

■本所

TEL:055-228-4711